

資料 2

西東京市公民館運営審議会
令和 5 年度第 8 回定例会

令和 5 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和 6 年 1 月 24 日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	教養講座 脳で見る・嗅ぐ・記憶する	11月 2 日 11月 9 日 11月 16 日 木曜日 14時から16時 全 3 回	延べ95人	・視覚や嗅覚の情報がどのような経路を経て脳の特定部位に伝達され認識されるのか、またどのような仕組みによって記憶として残されるのかを知る機会となった。 ・グループ学習を通して参加者同士が互いを知るとともに、日頃感じている疑問について意見を交換する良い機会となった。	石 龍徳（東京医科大学名誉教授）
2	芝久保	子育て中の人のための講座（保育付き） ママもパパも楽しくワークライフバランス ～子育て・家事を人生のキャリアに～	6月16日から 10月20日 金曜日 10時から11時45分 全12回	延べ105人	・「ライフワークパズル」という考え方を学び、仕事は生活の一部で、自分らしく仕事も生活も楽しめるように人生の質を重視する考え方を知る機会となった。 ・自分を大切にするために、仕事、家事・子育ての優先順位を見直し、自己理解を深めた。またアンコンシャスバイアスについて認識を深め合い、偏見を減らしていくことを話し合った。 ・パートナーとのコミュニケーションの大切さ、男性の育児参加が家族や社会に及ぼすメリットを学び、父親としての努力目標を発表した。更にマンダラチャートにより最適なワークライフバランスを可視化し見直す機会となった。	浅野由子（日本女子大学家政学部児童学科専任講師） 松岡 年（NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス連理事） 油井文江（（一社）日本ダイバーシティ・マネジメント推進機構専務理事） 嶋津直之（運営パパ育コミュ代表） 安藤哲也（NPO法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー代表） 堤 香苗（（株）キャリア・ママ代表取締役）

3	芝久保	暮らしに役立つ実学講座 スマホの安全な使い方教えます	9月7日から 9月28日 木曜日 10時から11時30分 全4回	延べ44人	・スマホの基本的な操作やインターネットの活用方法を学ぶとともに、安全に使うために気を付けることなどを各自のスマホを操作しながら学んだ。 ・災害時にも役立つアプリケーションとして地図アプリ「Google Maps」と防災アプリ「NHKニュース防災」を各自のスマホにダウンロードし使い方を学んだ。 ・スマホやパソコンの勉強と交流・情報交換を講座後も続けられるように、セブロスが設立支援した「リボンネットワーク」の活動を紹介した。	梅原昭彦（NPO法人西東京NPO推進センターセブロス代表）
4	芝久保	多世代交流講座 西原自然公園をみんなで観察 雑木林の再生と五感でアート	9月24日 10月1日 日曜日 10時から12時 全2回	延べ31人	・子どもから高齢者まで幅広い世代が交流しながら、共に学び、同じ体験をした。 ・西原自然公園の雑木林を若返らせる萌芽更新と保護活動を知り、本公園の落葉を使ったアートを体験した。	西原自然公園を育成する会 大野恭裕（臨床美術士） 谷いづ美（臨床美術士）
5	芝久保	第40回芝久保公民館まつり	10月28日 土曜日 9時30分から16時 10月29日 日曜日 9時30分から15時	来場者 延べ787人	・「子どもも大人も一緒に楽しもう」というテーマの下、実行委員会で知恵を出し合い準備を重ねた。 ・地域に根ざしたまつりとして幅広い年齢層の地域住民に関心を持ってもらえるように、近隣の学校に参加を呼びかけたところ、芝久保小学校の放課後子供教室や田無第三中学校美術部書道部、文華女子高等学校吹奏楽部から参加があり、まつりを盛り上げてくれた。 ・実行委員会で話し合われた内容やまつりの様子を記録誌に残すべく、広報委員長を中心に編集作業を進めている。	

6	芝久保	平和を考える講座 このまちにも戦争があった 中島飛行機武蔵製作所と空爆遺跡を辿る	11月26日 10時から12時30分 12月10日 10時から12時 日曜日 全2回	延べ19人	・中島飛行機武蔵製作所が戦闘機のエンジン等を製造していたことで米軍から空爆の目標とされたこと。目標が外れた爆弾によって西東京市域に大きな被害が及んだことを知った。 ・パンプキン爆弾に遭遇した人や、防空壕で空爆を受けた人がいたことを知り、日常を一瞬にして奪う戦争の悲惨さを継承する大切さを考える機会となった。 ・西東京市域の戦跡を訪れて解説を聴き、戦争を身近な問題として捉え、平和の尊さを考えるきっかけとなった。	牛田守彦（武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会代表）
7	芝久保	サロンコンサート	12月9日 土曜日 14時から15時	40人	（旧）西東京市民会館からやって来たコンサートピアノを活用し、本格的な音楽を気軽に楽しむ機会となった。	Sachika（サチカ）
8	谷戸	子育て中の人のための講座（保育付き） 五感を使って心豊かに子育てを！	5月18日から 10月16日 木曜日 10時から11時45分 全15回	延べ117人	・「五感」をキーワードに、タッピングタッチ、薬膳、アート鑑賞、制作、文章作り、リトミックなど。 ・自分の思いや感じたことを（絵画鑑賞や作品作りなどを通して）表現することで自分の思いを整理し、また相手の思いを受け止め尊重しながら交流を深めることができた。 ・薬膳は、日常使う食材を旬や栄養を意識することで、難しいものではなく身近な物であることを学んだ。 ・子どもの成長と保育室に預けることの安心を感じてもらうために保育室からの中間報告を行った。早い段階で、保育室への信頼と安心を感じてもらうことにつなげた。	中田利恵（タッピングタッチ協会認定インストラクター） 糟谷礼子（国際薬膳師） 夏目敬子（東京国立近代美術館、国立西洋美術館の教育普及ボランティア） 小川こころ（文筆家） 下田みゆき（幼児リトミック教室で指導）
9	谷戸	インクルーシブな社会をめざす講座 みんなでつくるボッチャ大会 ボッチャでなかまづくり	12月10日 土曜日 9時15分から12時	18組63人	大会実行委員が小平市ボッチャ協会所属団体の協力を得て、さまざまなメンバーの18組の団体戦を実施。日頃の鍛錬を競い合った。団体紹介をし、団体同士がつながるきっかけとなった。	

10	ひばりが丘	子育て中の人のための講座（保育付き） イヤイヤ期なんか怖くない！ みんな笑顔でいられるコミュニケーション講座	5月26日から 9月15日 金曜日 10時から11時45分 全12回	延べ118人	20代から70代までの幅広い世代の参加者が、子どもへの声かけや家族のコミュニケーションを学び合い、視野を広げる機会となった。	石川りつ子（生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ、厚生労働省認定2級キャリア・コンサルティング技能士）
11	保谷駅前	第14回駅前フェスタ2023 ～行こう、秋は駅前フェスタ～	10月14日 土曜日 10月15日 日曜日 10時から16時 【展示】 10月14日（土曜日） から10月20日（金曜日）	延べ744人	・公民館で活動するサークルが交流しながら、展示と発表を中心に学習成果を活かした様々な催しを行い、地域住民が多数、来場した。 ・実行委員会形式で運営し、公民館を拠点として地域住民が交流し学び合う機会となった。	
12	保谷駅前	社会問題講座 子どもの居場所づくりから見えてきた、子どもと共に歩むということ	10月21日から 11月11日 土曜日 10時から12時 ※10月21日は9時30分 から11時30分 全4回	延べ51人	小中学生の不登校数は最多を記録し続けている。西東京市もその例外ではない。自分たちの住む町に子どもたちの居場所を作ろう・・・という市民の努力が進み、複数の居場所ができてくる。そうした中で、専門性のうすいスタッフ中心の活動に不安を抱く声も聞かれ、子どもに寄り添うとは具体的にどういったことなのかを専門家から学んだ。また、現在「こどもの居場所」として活動中の団体から活動の内容の報告と、こどもとの関係づくりについての報告をしてもらった。	長谷川俊雄（白梅学園大学名誉教授、ソーシャルワーカー） 高橋 薫（文化学習協同ネットワーク） でこぼこ西東京、ぽくるーむ、西東京わいわいネット、げんきひろばの各代表 辻 浩（名古屋大学教授）
13	保谷駅前	【共催事業】 人権講座 子どもの権利を考える 西東京市子ども条例すごろく“マジか！”で遊ぼう ※西東京わいわいネットとの共催	12月9日 土曜日 10時から12時	30人	今年の5月から、高校生、大学生、西東京市のニート・引きこもり対策事業「We」に所属している青年8名を中心に作成してきた「西東京市子ども条例すごろくマジか！」を使い、参加者全員で遊びながら、子どもの権利や「西東京市子ども条例」を学びあった。	野村武司（東京経済大学教授、弁護士、前西東京市子どもの権利代表擁護委員）